

千葉市稲毛海浜公園自然観察会

虫と友達になろう！

萩 将勝（千葉市）

日時：2021年7月10日（土）10:00～12:00 天候：晴れ

参加者：40名（大人16名 子ども24名）

担当指導員：藤田・鈴木と・萩、管理事務所3名

雨を心配したが当日は良い天気、ただ熱中症が気になる気温です。コロナ禍で体温測定、手指消毒後受付をする。総勢40名と多人数、お子様は、ほとんど小学低学年以下の家族連れ、初めに、挨拶及び注意事項を説明後、3班に分かれて出発です。

公園事務所の脇道の入り口、木の枝に白い綿状のものが付いている。指でつつくとぴょんと跳ねた。ちょうどその下にはアオバハゴロモの成虫が、船の置いてある小屋の脇にマテバシイの切り株から多くの“ひこばえ”、ここでムラサキツバメの幼虫を観察、“アリが幼虫の衛兵だよ。”

チョット進むとソテツの雄花が咲いている。“大きいね” その下の川には、アメンボが、大広場、残念ながら数日前に刈ったばかり、トンボは飛んでいるが捕るのは無理。道の脇の植栽にドウガネブイブイが止まっている。会館の前を通り、日本庭園に、入り口にジョロウグモ まだ子ども、生垣にはクサグモの巣、”クモの種類によって巣の形が違うね” 池の上を、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボが飛んでいる。公園正面に出る。緑色をしたクモ発見！ サツマノミダマシ” 綺麗だね”。道をぴょんぴょん飛ぶ虫トウキョウヒメハンミョウ、野外スタジオ横のキリの花に来ているクマバチをゲット、瓶に入れて観察、子どもたち、怖そうに見ている。

林に囲まれた、ちょっとした芝生の広場、ここで自由に昆虫採集、何が捕れるかな？ 30分後に集まり、今日捕れた虫たちの仕分けをする。ウスバキトンボ、アオスジアゲハ、多くのショウリョウバッタの幼体、モリチャバネゴキブリ等々。ダンゴムシ、ワラジムシ、ムカデは昆虫ではないよ。仕分けが終わった後、お父さんがへんてこりんなイモムシを持ってくる。“背中に目がある！” “どっちが頭だ！” 皆、興味津々！ 成虫は枯葉模様の翅を持つアケビコノハの幼虫。

この公園は、埋め立て地に作られた公園でまだ50年たたないのではないかと思います。でも種類、個体数は少ないですが、色々な虫たちが生活できる環境ができていることを実感しました。

感想を聞くと子どもたちは一様に“色々な生き物を捕まえることができて楽しかった！” ある親は“ちよくちよくこの公園には、遊びに来るが、多くの虫が見られて違う公園に来たみたいなのが驚いた。”と、皆それぞれ、公園での虫捕りを楽しんだようです。



捕れた虫をシートに並べて仕分け